



早明浦ダム・高知分水管理事務所 着任のご挨拶



早明浦ダム ホームページ
↑スマホはこちらから

日頃より、早明浦ダム・高知分水の管理にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和4年4月1日付けで早明浦ダム・高知分水管理所長に就任しました富(とみ)と申します。

早明浦ダムは、昭和50年4月の管理開始以来、地元の皆様をはじめ関係機関の方々のご理解とご協力をいただき、おかげさまでましまして今年で48年目を迎えることができました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

近年では毎年のように全国各地で甚大な豪雨災害が発生しています。早明浦ダムにおいても、管理開始以来、121回の洪水調節を実施し、このうち、計画規模を超える洪水を4回も経験しています。そのため、私たちはどのような洪水に対しても適切に対応できるように設備等の維持管理を行うとともに日々の訓練に努めています。

一方、昨年12月以降の小雨傾向に加え、この間も下流域に対し、ダムから水を補給しているため、6月20日現在の利水貯水率は約37%と例年に比べ非常に低い状況が続いています。水機構は、関係機関との連携を強化しこの渇水に対しても適切に対応してまいります。

最後にとなりますが、豊かな自然に囲まれ湖面利用も盛んな早明浦ダムを積極的にPRし水源地域の活性化に貢献してまいります。引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願致します。



早明浦ダム・高知分水管理所長
とみ いくほ 富 行 穂

環境学習会を開催しました

地元の小学生(土佐町小学校、大豊学園、大杉保育所)を対象に「環境学習会」を開催しました。

学習会をとおして、水の大切さや、環境を守ることの重要性について楽しく学ぶことができました。



みんなでアユの放流体験!

今年から! 洪水に対応する容量を増強します!

- 早明浦ダムの補給方法の見直しを行ったことにより、7月1日の洪水期から利水容量700万m³を洪水調節容量に振り替えることが可能となりました。
- これにより、洪水調節容量が9,000万m³から9,700万m³に増強し、これまでの洪水貯留準備水位:EL.329.5mよりも1m水位を下げて洪水を迎えることが可能となります。
- 今後は増強した容量を活用し、吉野川下流域の洪水被害軽減に努めてまいります。

★★SDGsの取り組み紹介(2)★★



早明浦ダムでは、年間8億6,300万m³の用水を安定して四国四県で取水できるように計画的に供給しています。そのうち約22%、1億8,800万m³は農作物の生産等に使用する農業用水として使用されています。

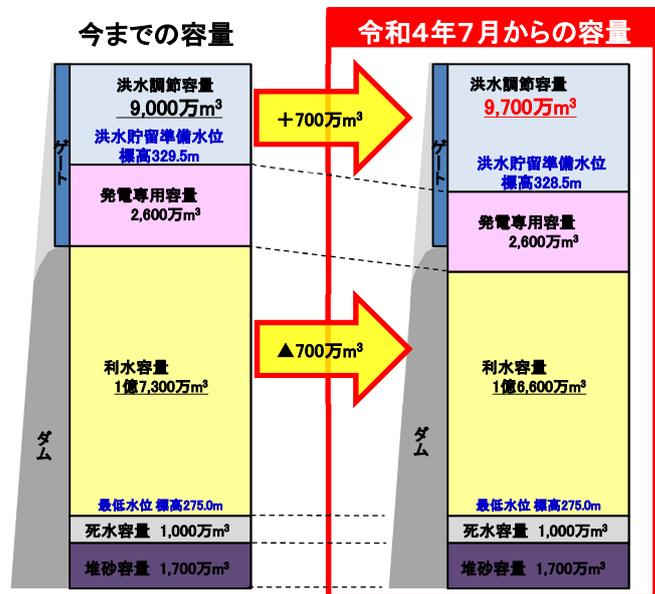


また、水質にも気をつけており、貯水池の水質調査や稲作へ悪影響を与えない水温層で放流するなど取り組みを行っています。

今後も農業用水を安定的に供給することで、農業の発展に寄与していきます。



洪水調節容量増強のイメージ(洪水期:7/1~10/10)



早明浦ダム再生事業推進室長
着任のご挨拶

令和4年4月1日付けで早明浦ダム再生事業推進室長として着任いたしました田中と申します。

早明浦ダム再生事業につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業は、容量振替や予備放流の導入により洪水調節容量を増やし、放流設備を増設して洪水調節機能を向上することにより、吉野川の治水安全度を向上することとされています。そのうち利水容量の一部振替による洪水調節容量の増強については、令和10年度の事業完了に先立ち、本年の7月1日から実施することとなりました。

また、本格的な工事に向けて、調査・設計、工費用道路等の準備工事を進めており、これから交通規制や工事関係車両通行の増加が見込まれ、地域住民の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしますが、関係行政機関とも連携し、皆様の生活への影響を最小限にするよう努力して参ります。

令和10年度の事業完成に向けて、工事が安全かつ円滑に進むよう、職員一同、一丸となつて取り組んで参りますので、引き続きご理解、ご支援をよろしくお願いたします。



早明浦ダム再生事業推進室長
たなか えいしょう
田中 英晶

☆☆ 再生事業からのお知らせ ☆☆



■ 本体工事進入路の整備に着手！

早明浦ダム再生事業では、本格的な工事に向けて、本体工事進入路の整備に着手いたしました。すでに、令和4年5月から早明浦ダム下流広場の全面封鎖と土佐町道中島ダム線の全面通行止めを実施させていただいております。(供用再開は令和11年3月を予定)

みなさまには、大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

★ 早明浦ダム周辺のいきものたち(2) ★



水資源機構では、早明浦ダム周辺の環境調査を実施しており、調査で確認された動物・植物をシリーズで紹介していきます。

今回は町中でもみることがあるシジュウカラを紹介いたします。

○シジュウカラ(シジュウカラ科)

シジュウカラは、日本全国の町や山に生息している一年を通して見ることができ鳥です。スズメの仲間、体長は15センチほど、頬や腹部が白く、頭は黒、翼は青灰色に白い筋が入っています。首元から腹部へ黒い縦模様、ネクターのように見えるのが特徴的です。また、腹部の縦模様が太いと雄、細いと雌と判別できます。

食性は雑食であり、昆虫類や木の実を食べており、巣は木のほらや巣箱に、コケなどを運び作ります。



シジュウカラ

